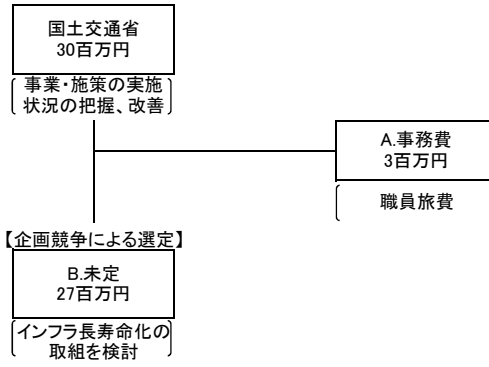


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	インフラ長寿命化の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	参事官(社会資本整備)		参事官(社会資本整備) 中原 淳		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	日本再興戦略-JAPAN is BACK- 社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	インフラ長寿命化の取組を進め、国民が安心して既存のインフラを利用し続けることができるようにするとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化に向けた取組を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内外の政府や民間企業の事例調査等を踏まえ、持続可能・実現可能な計画づくりや、確実な実行に向けた方策を検討する等により、インフラ長寿命化の取組を推進する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					30	
		繰越し等						
		計					30	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		—	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	— (事業の最終的な成果であるトータルコストの縮減や予算の平準化は、数十年間に渡る検証が必要となるため、成果目標及び実績を短期的に示すことが困難な性質のものである。)			成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		—	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	持続可能・実現可能な計画づくりや、確実な実行に向けた方策等の立案			活動実績 (当初見込み)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			算出根拠	—				
単位当たりコスト	(円/ )							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	—	3百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」30百万円				
	社会資本整備・管理効率化推進調査費	—	27百万円					
	計	—	30百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	社会資本の維持管理・更新は、本来、管理者が責任を持って行うべきものであるが、施設によって取組にばらつきが生じている。現状を改善し、国民の安全・安心を確保するためには、「日本再興戦略」等に基づく国の取組が不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国では、高度成長期以降に整備したインフラが今後一斉に高齢化することとなるため、インフラを安全により長く利用し、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ることが重要な課題となっている。これらの課題に対応するためのインフラ長寿命化の取組は政策的な優先度が極めて高い取組であり、国による関与が不可欠である。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
地方公共団体が策定するインフラ長寿命計画の実効性が確保されるよう、実践的な指針を策定すること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-